

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

| | | | |
|-----------|------|-----------|------|
| (H.23)No. | 3065 | (H.24)No. | 3065 |
|-----------|------|-----------|------|

| | | | | |
|-------|------------------|---------------------------|---------|--|
| 事務事業名 | | コミュニティバス運行補助金 | | |
| 担当部局名 | 担当室名 | 室長名 | 連絡先 | |
| 都市整備部 | 都市計画室 | 宮崎 敏 | 63-7749 | |
| 新・継 | 事業期間 | 根拠法令等 | | |
| 継続 | 平成 20 年度 ~ 平成 年度 | 名張市地域コミュニティ交通運営事業費補助金交付要綱 | | |

| | |
|-----------------|---------|
| 事業区分 (複数選択可) | ソフト施策事業 |
| | 扶助費 |
| | 補助金交付金 |
| | 投資事業 |
| | 施設等維持管理 |
| | 内部管理事務 |
| 特別及び企業会計、組合 | |

1. 事務事業の位置付け

| | | | |
|------|---------|-----------------|------------------------|
| 総合計画 | 政策 | 3 | 人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし |
| | 基本政策 | 4 | 総合的な交通対策の推進 |
| | 施策 | 1 | 交通対策 |
| | 小 施策 | 3 | 公共交通の充実 |
| | 重点施策コード | 4-4.コミュニティ交通の充実 | |

2. 予算区分

| | | |
|---------|---------------|--------|
| 会計区分 | 事業コード | 382003 |
| 一般会計 | (中事業名) | 予算書事業名 |
| 款 土木費 | 公共交通対策事業 | |
| 項 土木管理費 | (小事業名) | |
| 目 交通対策費 | コミュニティバス運行補助金 | |

3. 事務事業の概要

| 事業概要 | |
|--|--|
| 地域コミュニティ交通推進方針に定める交通空白地域及び交通不便地域において、地域住民によって組織された運行協議会が実施する地域コミュニティ交通運営事業であって、交通事業者に運行委託を行う手法により実施される事業に対し、運営費の補助を行う。 | |

| めざす効果(事業目的) |
|---|
| 交通空白地域、交通不便地域における地域コミュニティ交通の運営を支援し、自家用車やバイクなどの移動手段を持たない交通移動不便者の移動手段を確保する。 |

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

| | 平成23年度 (実績・決算見込) | | 平成24年度 (計画・作成時予算額) | | |
|--------------|--|----------|---|----------|----------|
| | [事業内容(事業量)・事業費] | | [事業内容(事業量)・事業費] | | |
| 主な事業の実績・計画 | コミュニティバス運行補助金 @300万円×3地域(錦生・薦原・緑が丘) NPO等運営バス支援補助金 錦生159千円 薦原185千円 緑が丘7千円 | | コミュニティバス運行補助金 @300万円×4地域(錦生・薦原・緑が丘・美旗) NPO等運営バス支援補助金 錦生・薦原・緑が丘・美旗@300千円×4地域 | | |
| 直接事業費 | 9,351千円 | 13,200千円 | 12,000千円 | 12,000千円 | 12,000千円 |
| 財源内訳 (千円) | 国庫支出金 | | | | |
| | 県支出金 | 351 | 1,200 | | |
| | 地方債 | | | | |
| | その他() | | | | |
| 一般財源 | (0) 9,000 | 12,000 | 12,000 | 12,000 | 12,000 |
| 人工数 | 職員 | 0.40人 | 0.40人 | 0.40人 | 0.40人 |
| | 臨時職員等 | | | | |
| 概算人件費 | (0千円) 2,920千円 | 2,920千円 | 2,920千円 | 2,920千円 | 2,920千円 |
| + 総事業費 | (0千円) 12,271千円 | 16,120千円 | 14,920千円 | 14,920千円 | 14,920千円 |

| 現在の実施手法(複数選択可) |
|------------------|
| 市が直接実施 |
| 業務委託(全部・一部)により実施 |
| 指定管理 |
| 補助金・交付金 |
| その他 () |

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成23年度の()内の数値は、22年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計及び組合会計の一般財源欄には当該会計上の一般財源を、企業会計の一般財源欄には一般会計繰入金を記載しています。平成25年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

| 事業指標名 | | 単位 | H.20 (現状値) | H.21 | H.22 | H.23 | H.24 |
|-------|----|----------------------------------|---------------|--------|--------|--------|------|
| 活動指標 | 目標 | コミュニティバス乗車人員数 (ナッキー号、あららぎ号除く) | - | - | - | - | - |
| | 実績 | | 10,823 | 16,892 | 16,172 | 16,607 | |
| | 目標 | | | | | | |
| | 実績 | | | | | | |
| | 目標 | | | | | | |
| | 実績 | | | | | | |

6. 考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

| 考察(前年度の評価-各指標等) | 今後の対応方針 |
|--|--|
| 交通不便地域である美旗地域の一部について、コミュニティバス「はたっこ号」の運行を実現すべく地元運行協議会と共に検討を重ねた。 | 「はたっこ号」は、24.4.1より実証運転の段階に入ったが、今後、改善すべき点は、地元運行協議会と共に検討が必要。その他のコミバスも持続安定的な運行に向けて地元運行協議会と共に検討が必要。 |

7. 事業を取り巻く環境

| 事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等) | 市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見 |
|--|--|
| ・市の高齢化率の推移(65歳以上の総人口に占める割合)平成20年 18.69% 平成30年 20.15%(市推計) ・団塊の世代が定年を迎え、路線バスの利用が減少している。今後、地域でのコミュニティバスの関心が高まることが予想される。 ・国においては、交通格差社会の進展を見据え、移動権の保障等を根幹に交通基本法の制定が進められている。 | 高齢化により、今後ますます増加する交通移動不便者の移動手段確保に向けた取組が求められている。 |

8. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

| 点検項目 | 具体的内容(選択肢 ・ の場合) (4)は の場合 |
|---|------------------------------|
| (1) 現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない | |
| (2) 効果・効率性の観点から他の事務事業と連携・統合を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない | |
| (3) 新たな財源確保や受益者負担の見直し等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない 検討余地がある | 今後、国・県の動向を見守りながら、補助制度の活用を検討。 |
| (4) 事業に関係する地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ある ない ある | |
| (5) 事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] 反映済み 反映を予定 反映予定なし(該当しない) 反映済み | |
| (6) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない 検討余地がある | より事業の効率性を高めるよう、地域に働きかける。 |

9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(事務改善) 継続(現行) 継続(拡大) 休止・廃止検討 事業完了(完了予定含む)

継続(現行)

「継続(現行)」の場合のみ理由を記載

交通不便地域として、赤目地域の一部導入の検討も必要であるが、当面、持続安定的な運行を可能にする必要がある。

特記事項